

通関士本試験総評と科目別の分析

《総 評》

今回の通関士試験については、難しいと感じられた方が多かったかもしれない。第2科目目（関税法等）では、細かい内容を問う問題は含まれており、また、**第3科目目（通関実務）**について、前年に続いて「意欲的な」出題がされており、点数が取りにくかった。

通関業法については、**改正点**からの出題はあったが、例年並みの問題であり、**オーソドックスな勉強**をしっかりとやっていれば、十分に合格点（現時点で未発表だが、例年6割）が取れる内容であった。

関税法等については、語群選択式、択一式、複数選択式の問題中いずれもいくつか難問が見られたため、解きにくかった。

全体としては、やはり**基本的な問題をいかにミスなく得点できたか**がポイントであったが、現場で**問題文をしっかりと読み取る**ことが従来以上に重要であったと考えられる。

《科目別の分析》

【通関業法】

語群選択式は、改正点である「許可の承継」について出題された（第2問）が、内容は基本的であり、出題分野も十分に予測できる範囲であった。ここで満点近い得点を狙うことは可能であった。

複数選択式・択一式についても、満点は難しいが、基本的な事項をしっかりと記憶していれば、高得点が狙える内容であった。

【関税法等】

語群選択式において、関税法から4問、関税定率法（減免税）から1問という出題であった（前年と同じ）。難問というべきもの（第2問）があったが、それ以外は内容は基本的であり、高得点を狙いたい問題であった。

複数選択式は、かなりの難問も見られた（第11問等）が、基本的な事項からの出題も多かった。改正点からの出題（第13問）があった。択一式は難問もあった（第28問等）が、複数選択式に比べれば点数は取り易かったと思われる。やはり基本知識の習得が大切であり、できる問題を確実に正解することが重要といえる。

【通関実務】

輸出申告書は、一見資料が多く難解に思えても、冷静に対処すれば十分正解は導ける内容であった。比較的易しい問題であったといえる。

輸入申告書は作業量が多く、前年に続き、「現場で資料を判断する問題」となった。これまでにないパターン（歩留まり率）が出題されたため、時間がかかる問題であった。丁寧に作業すれば統計品目番号の確定はできる内容であったが、課税価格の判断が難解であり、難問であったといえる。

複数選択式・択一式は、難問もあったが、全体的には何とか正解を導けるものが多かったと思われる。経済連携協定から2問出題されたこと、貨物分類の問題が知識よりも「あてはめ（読み取り）」を重視する内容であったことが、前年と同様であり特徴的であった。

計算式については、事前に十分な練習を積んでいれば、全問正解することも可能な内容であった。出題の内訳は、課税価格3問、関税額の計算2問であった。輸入申告書が難解であったため、計算式で確実に点数を取ることが合格には重要といえる。

通関実務全体として、前年に続いて、「現場で判断する力」を試される面があった。しかし、やはり基本知識の積み重ねと練習によって、取るべき問題を確実に得点することが重要であるといえる。

H28年度 通関士本試験問題的中度照合分析

照合優先順位（カッコ内は略称号）

①公開模試（公）	②直前答練（直）	③基本テキスト（TX）
④基礎答練（基）	⑤貨物分類暗記ノート（暗記）	⑥応用テキスト（応用）
⑦法改正点レジュメ（法律）	⑧オプション講座・語群選択 大予想＋α講座（語群）	（類）…出題論点が類似している。

※対象は、本試験のすべての肢です。

※太字ゴシックは出題形式もズバリ的中のものです。

◆通関業法

【語群選択式】

問	項 目	TAC教材
1	営業区域の制限	直1問15・直2問14・直3問3
2	通関業の許可の承継	公問13・直3問12・直4問13・ 語群問12 ・法律P20
3	通関士の審査等	直1問18・ 直2問3 ・ 語群問18
4	監督処分	公問20・直2問20・直3問10・ 直4問5 ，問17・
5	罰則	公問10・ 直2問5

【複数選択式】

問	項 目	TAC教材
6	定義	直2問18・直3問6，問8
7	許可の消滅と取消し	公問13・直4問12（類）
8	通関士の設置	公問15・直1問17・直2問16・直3問4・直4問14
9	通関業者及び通関士の義務	公問5，問11・直1問6・直2問6・直3問1，問11・直4問9
10	税関長の確認	直3問19

【択一式】

問	項 目	TAC教材
11	定義	直1問8・直3問6・直4問6
12	通関業の許可等	公問1，問2，問6・直2問8，問9・直4問13
13	欠格事由	公問7・直3問13・直4問2（類）
14	許可の消滅と取消し	公問13・直1問2・直2問10，15・直3問15

15	変更等の届出	公問3・直1問16・直4問11
16	更正に関する意見の聴取等	公問9・直1問3・直2問17・直3問7・直4問15
17	通関業者及び通関士の義務	直1問4・直4問4
18	記帳、届出、報告等	公問17・直1問4・直2問18・直3問8・直4問4
19	通関士の資格	直4問18
20	公告	公問13・直1問7・直2問9

◆関税法等

【語群選択式】

問	項 目	T A C教材
1	定義（法定納期限）	T XP229～P230
2	延滞税	公問2・T XP242・語群問8
3	輸入通関	基問12
4	過少申告加算税及び重加算税	直3問4・直1問22
5	無条件免税	直3問24

【複数選択式】

問	項 目	T A C教材
6	輸出通関	直2問17・直3問25（類）・直4問6，18（類）
7	輸入通関	公問10・直1問3・直2問29（類）・直3問14（類）
8	貨物の運送	直3問23
9	貨物の収容	公問22・直2問19・直4問21
10	関税の軽減・免除（暫定措置法）	直3問11・直4問9，23
11	課税価格の計算	T XP14・応用P13
12	関税率表等	T XP128，136，137
13	不服申立て	直4問26・法律P1～5
14	輸入してはならない貨物	直4問28
15	輸出してはならない貨物	公問30・法律P9，10

【択一式】

問	項 目	T A C教材
16	課税物件の確定の時期	T XP190～192，195，198，200・基問4
17	納税義務者	直1問7，直3問6
18	関税の確定	直1問1
19	関税の納付及び徴収	T XP213～215，238・基問17

20	輸出通関	直 2 問17 (類)・直 3 問 9・直 4 問 6, 16
21	輸入通関	公問10・直 1 問 3, 21・直 3 問17
22	経済連携協定	直 3 問17 (実務)
23	保税地域	直 2 問11・直 3 問10・直 4 問10
24	特例輸入者・特定輸出者	直 3 問18
25	関税の軽減, 免除, 払戻し	直 1 問25・直 2 問21
26	特惠関税制度	直 1 問16・直 2 問22
27	課税価格の決定	T XP24, 27～28
28	外為法・輸出貿易管理令	T XP165, 169, 171
29	外為法・輸入貿易管理令	直 1 問29・直 3 問13
30	N A C C S 法	直 1 問30

◆通関実務

【申告書】

問	項 目	T A C 教材
1	輸出申告書	公問 2 輸入申告書「類」の中！！
2	輸入申告書	直 4 問 1 輸出申告書「類」の中！！・応用問題 5

【選択式】

3	関税の確定及び納付	T XP212, 216～218, 238
4	関税率表上の所属	
5	関税率表の解釈の通則	直 1 問 5・直 3 問 5
6	原産地の認定	公問 7 (類)・直 1 問 7 (類)
7	オーストラリア協定	法律P34～41

【計算式】

問	項 目	T A C 教材
8	修正申告による関税額の計算	直 1 問 9 (類)・直 3 問 8
9	関税額の計算	公問 9・直 2 問 9
10	課税価格の計算	応用P34
11	課税価格の計算	応用P68～69
12	課税価格の計算	T XP20

【択一式】

問	項 目	T A C 教材
13	輸出通関	公問 7 (関税法等)・直 3 問 8 (関税法等)

14	輸入通関	法律P 7
15	関税率表上の所属	
16	関税率表上の所属	直 2 問 4
17	モンゴル協定	公問17・直 2 問17・直 3 問17・直 4 問17